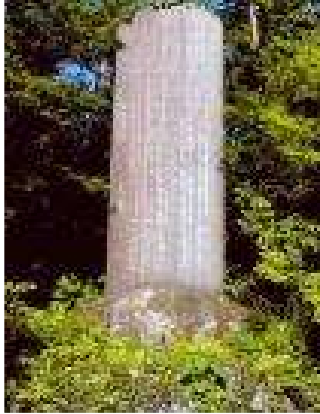


# 浜松地域遺産(浜松市認定文化財)の概要

2024年3月26日

浜松市文化財課

天竜区 150



椎ヶ脇神社由緒略碑(歴史資料)

令和5年度  
認定文化財の例

天竜区 161



清水神社境内(史跡)

浜名区 283



祝田坂(史跡)



浜名区 304



都田の連理木のエノキ(天然記念物)

中央区 232



腰掛岩(伝承地)

中央区 231



志都呂神楽(無形民俗文化財)

各区の番号は一覧表(後掲)と一致

## ■浜松地域遺産(浜松市認定文化財)のご紹介

浜松市は、平成 28 年度(2016)から新たに導入した認定文化財制度によって、市内の豊富な文化財の幅広い顕彰と活用を開始いたしました。初年度の平成 28 年度に 91 件を認定したのを始めに、令和 4 年度までの制度導入後 7 年間で合計 659 件の新しい文化財を認定し、令和 5 年度にはさらに 82 件の文化財を加え、8 年間の累計は 740 件となりました。令和 6 年度以降も、毎年募集する予定です。

認定の対象は、有形・無形・記念物等、従来の指定・登録文化財と同様のすべての種別です。さらに「伝承地」・「近代化遺産」・「伝統的生活文化」等の市独自の種別も設けて、比較的ゆるやかに幅広い認定を目指し、今後は将来の指定文化財候補を選出することも視野に入れています。

### ◆従来の制度との違い

浜松地域遺産				
制度	指定文化財	登録文化財	選択文化財	認定文化財
制度	法・条例で規定された文化財(指定文化財等)。			要綱により認定する文化財。 (浜松市独自の制度。)
補助金	種別によって、維持・修繕等に補助金の制度があります。 (所有者の負担もあり。)			補助金の制度はありません。
現状変更等	・現状変更について、制限があります。 ・滅失・転出等を除き、解除されません。	・外観などを除き、改変は可能です。 ・保存と活用が期待されています。	・記録保存を講ずべきとされています。	・現況の景観が維持されれば、利用形態、改変等に制限はありません。 ・所有者・管理団体からの申出により解除もできます。 ・期間を限定した認定にも対応します。

### ◆認定文化財の対象となる種別

有形文化財	無形文化財	無形民俗文化財	有形民俗文化財	記念物	伝統的建造物群	文化財の保存技術	文化的景観	伝統的生活文化★
・建造物 ・絵画 ・彫刻 ・工芸品 ・書籍・典籍 ・古文書 ・考古資料 ・歴史資料				・史跡 ・名勝 ・天然記念物				
★近代化遺産			★記憶遺産	★伝承地				
人びとが創造してきた動産の文化財	人のすぐれたわざ	祭り、年中行事など	祭りの道具、常夜灯や石仏など	遺跡や景勝地、希少な動植物		文化財を継承する技術	棚田	書や茶道また在来種栽培

★印は、浜松市認定文化財独自の種別。

平成 28 年度～令和 5 年度 「浜松地域遺産」認定一覧

区	名称	種別	説明	年
中央 001	賀茂真淵筆懐紙	書跡	真淵が宝暦 4 年(1754)年に詠んだ和歌。	H28
中央 002	舟岡山のトーチカ★	史跡	半田町。第二次世界大戦末期、コンクリート製。	H28
中央 003	天王町東地蔵菩薩堂	有形民俗文化財	嘉永 2 年(1849)建立と伝わる。屋根組に特徴。	H28
中央 004	天王町東秋葉山常夜灯鞘堂★	有形民俗文化財	嘉永 7 年(1856)建立、昭和 47 年移転。	H28
中央 005	天王町東引舞台家形	有形民俗文化財	天王町東の屋台、明治 15 年(1882)製作。	H28
中央 006	金田家住宅	建造物	昭和 6(1931)年改築、同棟札が現存。	H28
中央 007	白鳥町子安神社境内★	史跡	出産にあたり鎌と柄杓を奉納する習俗。	H28
中央 008	白鳥の富士石★	有形民俗文化財	行者の石が次第に大きくなったという伝承。	H28
中央 009	有玉神社の流鏝馬神事	無形民俗文化財	旧八幡神社に三自治会の代表が奉納する。	H28
中央 010	松之浦神社の注連縄★	無形民俗文化財	松小池町。鳥居の注連縄を俵形とし、亀甲状に結ぶ。	H28
中央 011	中野町の町並み★	伝統的建造物群	天竜川西岸、旧東海道沿いの町屋景観。	H28
中央 012	村越家石蔵	建造物	明治 10 年(1877)建造、伊豆石の蔵。	H28
中央 013	高橋本家石蔵・土蔵	建造物	伊豆石の蔵と土蔵は、明治 27 年(1894)。	H28
中央 014	大塚家石蔵	建造物	明治 7 年(1874)建造、伊豆石の蔵。	H28
中央 015	井熊家石蔵	建造物	明治後期建造、伊豆石の和洋折衷の蔵。	H28
中央 016	高橋家石蔵	建造物	明治 37 年(1904)建造、伊豆石の蔵。	H28
中央 017	和田家石蔵	建造物	明治後期建造の伊豆石の蔵。	H28
中央 018	中ノ町村道路元標★	史跡	中野町。大正 9 年(1920)、旧中ノ町村の道路元標。	H28
中央 019	舟橋紀功碑★	歴史資料	中野町。架橋に功績があった浅野茂平の記念碑。	H28
中央 020	天竜川実測図	歴史資料	金原明善の天竜川測量図のうち一部。	H28
中央 021	大貳(おおみか)神社境内★	史跡	中野町。旧松尾大明神、松尾大社領池田荘の中核。	H28
中央 022	中野町の煙火	無形民俗文化財	毎年 8 月 14 日開催。元は六所神社に奉納。	H28
中央 023	浜松領東境領境石★	歴史資料	菓新町。東海道安間橋の南北から、現在地に移転。	H28
中央 024	賀久留神社の神幸祭	無形民俗文化財	毎年 10 月に開催する田楽と神輿渡御。	H28
中央 025	馬郡観音堂旧蔵大般若経	書跡・典籍	文化 3 年(1806)に当地出身者らが寄進。	H28
中央 026	息(おき)神社の田遊祭	無形民俗文化財	三月、宮座の人びとが稲の栽培を祈念する。	H28
中央 027	舞阪の大太鼓祭り	無形民俗文化財	旧暦 9 月 14、15 日、岐佐神社に奉納する。	H28
中央 028	洞雲寺境内★	史跡	応永 11 年(1404)開創。境内の景観を残す。	H28
中央 029	随縁寺大日堂扁額	工芸品	堀江藩・大澤基恒揮毫、同寺は大日堂の後身。	H28
中央 030	随縁寺涅槃図	絵画	浜松・寺島にあった随縁寺が旧蔵。	H28
中央 031	随縁寺十六善神図	絵画	寛文 12 年(1672)、兆典司の筆。	H28
中央 032	随縁寺大日如来像	彫刻	志津城主藤原氏の発願、村櫛荘大日堂旧蔵。	H28
中央 033	雄踏歌舞伎万人講	無形民俗文化財	昭和 27 年中断、平成元年から保存会が復活。	H28
中央 034	頭陀寺弘法大師像	彫刻	家康寄進と伝わる木造坐像。	H28
中央 035	頭陀寺地蔵菩薩像	彫刻	明治前期鑄造の立像、水掛地蔵。	H28
中央 036	頭陀寺薬師道の道標★	歴史資料	頭陀寺町。正徳元年造立の 2 点を境内に移築。	H28
中央 037	頭陀寺役行者像	有形民俗文化財	延享 3 年(1746)造立の石造。	H28
中央 038	鎌砥池(かまとぎいけ)★	伝承地	頭陀寺町。松下家に奉公した秀吉伝説がある池跡。	H28
中央 039	頭陀寺半鐘	工芸品	天保 14 年(1844)鑄造。戦時供出から寺に戻った。	H28
中央 040	満州道路★	近代化遺産	豊岡町。三方原台地開墾の入植時の直線道路。	H28
中央 041	早出薬師講信仰資料	有形民俗文化財	明治初期造立の西国三十三観音像ほか。	H29
中央 042	蓮華寺松尾芭蕉句碑★	有形民俗文化財	松尾芭蕉が吟行した縁から天明 8 年頃建立。	H29
中央 043	心造寺賀茂真淵句碑	有形民俗文化財	浜松出身の国学者、見学は寺の許可が必要。	H29
中央 044	小沢仁庵の墓	史跡	浜松城主の御典医、見学は寺の許可が必要。	H29
中央 045	三浦神社拝殿★	建造物	大正 13 年(1924)年建立。	H29
中央 046	浜松秋葉神社の管粥祭	無形民俗文化財	毎年 1 月 28 日に、五穀の豊作を占う。	H29

区	名称	種別	説明	年
中央	047 浜松秋葉神社境内★	史跡	奥平信昌屋敷跡、信玄衆誓詞奉納などの場所。	H29
中央	048 浜松秋葉神社のオガタマノキ★	天然記念物	戦災を免れた巨木。樹齢不詳。	H29
中央	049 元亀霊神社境内★	史跡	住吉町開発に際し、三方原合戦の将兵を祀る。	H29
中央	050 誠忠碑★	建造物	大正8年(1919)建設の戦勝碑。現在地に移設。	H29
中央	051 引間城跡★	史跡	家康旧跡のうち、東照宮境内を認定。	H29
中央	052 旧浜松市鴨江別館★	建造物	昭和3年(1928)、浜松警察署として竣工。	H29
中央	053 安間町会所の幕	歴史資料	弘化5年(1848)製、八柱神社の会所で使用。	H29
中央	054 宝珠寺六地藏と立念仏供養塔★	有形民俗文化財	上新屋町。文化2年(1805)建立と推定。	H29
中央	055 宝珠寺子安地藏菩薩像	彫刻	宝珠寺の本尊、厨子を含む。	H29
中央	056 宝珠寺延命地藏菩薩像	彫刻	無縁の霊を供養する像、厨子を含む。	H29
中央	057 宝珠寺聖徳太子孝養像	彫刻	袈裟姿に柄香炉を持つ立像、厨子を含む。	H29
中央	058 宝珠寺岩戸観世音菩薩像	彫刻	厄除け観音、厨子は明和6年(1769)京都製。	H29
中央	059 宝珠寺観音堂天井絵	絵画	観音堂兼位牌堂の格子天井に描かれる。	H29
中央	060 宝珠寺観音札の版木	有形民俗文化財	江戸時代から版木として使用。	H29
中央	061 宝珠寺のおみくじ箱	有形民俗文化財	寛政5年(1793)と書かれた竹製みくじと箱。	H29
中央	062 宝珠寺の念仏数珠	有形民俗文化財	毎月17日の縁日で信者が念仏を唱えた。	H29
中央	063 宝珠寺法華経	典籍	文化4年(1807)の記載がある奉納経典。	H29
中央	064 上新屋岩戸観音堂の諸仏	彫刻	旧岩戸観音堂の什器等を一括。	H29
中央	065 宝珠寺涅槃図	絵画	明和2年(1765)新添の裏書がある。	H29
中央	066 宝珠寺出山釈迦図	絵画	年代不詳、画賛は妙心寺寧山(~1838)と伝。	H29
中央	067 宝珠寺の頂相群	絵画	歴代住職の頂相。	H29
中央	068 宝珠寺達磨図	絵画	白隠禅師筆と伝。	H29
中央	069 宝珠寺庚申図	有形民俗文化財	庚申信仰の隆盛を示すもの。	H29
中央	070 宝珠寺十六善神図	絵画	不詳。大般若経転読や岩戸観音大祭に掛ける。	H29
中央	071 蒲二葉会日曜学校旗	歴史資料	大正3年(1914)に開校した児童座禅会の旗。	H29
中央	072 宝珠寺日本左衛門供養塔★	有形民俗文化財	歌舞伎のモデルとなった盗賊、処刑後に建立。	H29
中央	073 宝珠寺半僧坊大権現の碑★	有形民俗文化財	上新屋町。奥山半僧坊の分身として信仰された。	H29
中央	074 宝珠寺秋葉山常夜灯★	有形民俗文化財	上新屋町。明和7年(1770)建立。	H29
中央	075 宝珠寺手水桶★	有形民俗文化財	上新屋町。明和6年(1769)の刻字がある。	H29
中央	076 宝珠寺通応和尚墨跡一円相	書跡	弘化2年(1845)、大通院に招かれた通応の書。	H29
中央	077 宝珠寺大般若経	典籍	貞享2年(1685)版。	H29
中央	078 宝珠寺聖徳太子摂政像	彫刻	本堂須弥壇に置かれた摂政像。	H29
中央	079 宝珠寺達磨大師像	彫刻	椅子に掛けた達磨大師像。	H29
中央	080 宝珠寺山岡鉄舟の書跡群	書跡	山岡鉄舟が滞在した時の書。	H29
中央	081 雄踏町西ヶ崎自治会文書	古文書	天保3年「若者掟」、慶応3年「御蔭寄付」。	H29
中央	082 雄踏町山崎の百万遍念仏	無形民俗文化財	毎年8月1日川施餓鬼とともに開催される。	H29
中央	083 雄踏町領家の金館車	有形民俗文化財	息神社祭典で領家地区が使用する山車。	H29
中央	084 大通院山門★	建造物	新橋町。宝暦4年(1754)建立、昭和27年移築。	H29
中央	085 大通院禁葷酒標石★	有形民俗文化財	新橋町。文化12年(1815)、馬繫ぎ石を兼ねる。	H29
中央	086 大通院釈迦如来像	彫刻	天明5年(1785)造立と伝わる。	H29
中央	087 大通院舍利容器	工芸品	宝暦14年(1764)に大通院に拝請された。	H29
中央	088 堤町馬頭観音像★	有形民俗文化財	明応年間(1492~1500)勧請と伝えられる。	H29
中央	089 倉松町のいぼ地藏信仰資料	有形民俗文化財	村の火葬場に通じる野辺の入口にある地藏。	H29
中央	090 金折津島神社祇園祭(ヨイトー)	無形民俗文化財	8月4日の夜、大松明を運ぶ虫送りと天王祭。	H29
中央	091 館山寺街道の道標★	歴史資料	明治37年(1904)設置、高さ1.38m。	H30
中央	092 宇布見街道の道標★	歴史資料	上記14と同様、明治37年(1904)設置か。	H30
中央	093 狐塚古墳	史跡	直径20mほどの円墳。現地立入は不可。	H30
中央	094 五社神社・諏訪神社の石垣★	史跡	徳川家光の時代に建設された切石の石垣。	H30

区	名称	種別	説明	年
中央	095 五社・諏訪神社の手水鉢★	歴史資料	寛永15年(1638)年、浜松城主高力忠房寄進。	H30
中央	096 五社神社の光海霊神碑★	歴史資料	賀茂真淵が師・森暉昌を記念して撰文した碑。	H30
中央	097 黒田稻荷境内★	史跡	享保年間浄鏡院の尼僧が勧請したと伝わる。	H30
中央	098 金山神社境内★	史跡	浜松城下の鍛冶職が勧請、元和年間に現位置。	H30
中央	099 賀茂真淵夫妻の墓	史跡	教興寺にあった墓が移転。真淵は明和6年没。	H30
中央	100 旧元城尋常小学校校長像台座	歴史資料	戦時中の金属供出により台座だけが残る。	H30
中央	101 金原明善翁顕彰碑★	歴史資料	薬師町。大正7年(1918)建立、明善の業績を示す。	H30
中央	102 笠井町春日神社の神輿渡御	無形民俗	神社からお仮屋(天満宮)まで神輿が往復する。	H30
中央	103 笠井町春日神社の神輿	有形民俗文化財	渡御のご神体を載せる、明治15年(1882)建造。	H30
中央	104 息(おき)神社の金的中額	有形民俗文化財	弓術で奉納、最古のものは寛延元年(1748)。	H30
中央	105 雄踏町西ヶ崎の館車	有形民俗文化財	明治25年(1892)建造、知多の大工が製作。	H30
中央	106 雄踏町田端の館車	有形民俗文化財	昭和11年(1936)建造、知多の大工が製作。	H30
中央	107 山崎の秋葉山常夜灯鞘堂★	有形民俗文化財	明和5年(1768)建造、中に常夜灯を納める。	H30
中央	108 堤町馬頭観音堂の手水鉢	歴史資料	宝暦7年(1757)、西国同行二十三人とある。	H30
中央	109 曳馬坂拡張記念碑★	歴史資料	昭和6年道路拡張工事記念。若槻礼次郎揮毫。	R01
中央	110 住吉の親子地藏像	有形民俗文化財	大正12年建立、武士の親子を祀るという。	R01
中央	111 深奥山(じんおうざん)扁額	書跡	方広寺大火後の復旧のため山岡鉄舟が書いた。	R01
中央	112 御朱印状保管箱及び御朱印写	歴史資料	助信村に浜松藩から発給された文書の保管箱。	R01
中央	113 上石田高橋家の石蔵	建造物	昭和2年、伊豆石の蔵。敷地は広場として開放。	R01
中央	114 近世近代浜松関係資料	歴史資料	個人蔵、計103点。浜松に関わるものを認定。	R01
中央	115 手押し消防ポンプ車及び刺し子	歴史資料	大正13年製。「下堀」という旧地名を記す。	R01
中央	116 天王町中の屋台	有形民俗文化財	明治19年製。天王新田の大工が製造した。	R01
中央	117 宝珠寺半僧坊大権現像	彫刻	半僧坊の信仰を集めた宝珠寺の木造立像。	R01
中央	118 北嶋八幡宮文書	古文書	慶長6年、伊奈備前守忠次他連署の安堵状。	R01
中央	119 薬師町八柱神社鳥居壱門棟札	古文書	1901年に神仏分離令による改修した記録。	R01
中央	120 蒲神明宮の大灯籠★	歴史資料	神立町。天保4年、当時寄進した村々を記す。一対。	R01
中央	121 小山みい頌徳灯籠★	歴史資料	神立町。明治33年、遠州織物への功績を記念。	R01
中央	122 蒲神明宮の御田打ち	無形民俗文化財	元日の朝、田打ちから田植えまでの所作をする。	R01
中央	123 蒲大神の碑★	歴史資料	植松町。東海道筋に建立、神明宮の前身を祀る。	R01
中央	124 蒲神明宮の庭上座礼	無形民俗文化財	10月例大祭、玉石の上に簀を敷き神事を行う。	R01
中央	125 蒲神明宮の神楽	無形民俗文化財	庭上座礼で16名の子女が櫛と扇子で踊る。	R01
中央	126 大蒲町のまつり道	伝承地	蒲静並の邸宅跡から神明宮までの道と伝える。	R01
中央	127 袖ヶ浦三十三観音霊場の観音像★	有形民俗文化財	豊町蔵泉寺ほか22体の観音像が現存する。	R01
中央	128 雄踏町ゆかりの書画	絵画／書跡	旧雄踏町教委が郷土に関係する書画を集めた。	R01
中央	129 雄踏町浅羽の館車	有形民俗文化財	明治36年東京で製造、静岡七間町から購入。	R01
中央	130 雄踏町小山の館車	有形民俗文化財	明治22年天王新田の大工が製造した。	R01
中央	131 雄踏町中村の館車	有形民俗文化財	江戸時代、掛塚で使用。明治22年に購入。	R01
中央	132 茂山塚(もさんづか)★	史跡	館山寺町。姉川で討死した中安兵部の宝篋印塔。	R01
中央	133 桜塚★	史跡	館山寺町。大永2年、佐田城で死亡した女性の墓。	R01
中央	134 大通院舍利塔	工芸品	大正15年に仏舎利を格納するために製作した。	R01
中央	135 福長浅雄建立謝恩の碑	歴史資料	飛行機製造の協力者に福長が感謝した記念碑。	R01
中央	136 大塚稻荷明神の手水鉢★	歴史資料	大塚町。享保4年(1719)の年号がある。石製。	R01
中央	137 新羅神社境内★	史跡	江之島町。小笠原源太夫が享保8年に勧請した。	R01
中央	138 不二丘料理店主屋	建造物	昭和30年に開業した割烹料理店の宴会場。	R02
中央	139 間瀬商店主屋	建造物	昭和2年に建造した建物が戦災を逃れて残る。	R02
中央	140 三米商店主屋	建造物	昭和31年建造の鉄筋コンクリート3階建てビル。	R02
中央	141 林麴製造所土蔵	建造物	明治期に建造した蔵が戦災を逃れて現存する。	R02
中央	142 弁いち関係資料	歴史資料	得意先からの書画、昭和26年の婚礼献立など。	R02

区	名称	種別	説明	年
中央 143	大安寺阿弥陀如来像	彫刻	寛文2年(1662)、肴町に勧請された寺の本尊。	R02
中央 144	不二丘料理店関係資料	歴史資料	料理店の宴会で使用していた三味線。	R02
中央 145	天ぶらの榊形関係資料	歴史資料	戦前に江間殿小路で使用していた半纏と井。	R02
中央 146	松作商店関係資料	歴史資料	明治26年の荷受状、戦前の金庫などを保存。	R02
中央 147	林糞製造所関係資料	歴史資料	大正以前、糞の小売り行商に使用していた木桶。	R02
中央 148	伊東商店関係資料	歴史資料	戦後に導入した鳥羽式鯉節削り機が稼働する。	R02
中央 149	大安寺の西の市	無形民俗文化財	昭和25年に法雲寺から移転した西の市を継続。	R02
中央 150	旧萩の原開拓村の区画★	文化的景観	昭和22年、三方原開拓入植当時の区画を残す。	R02
中央 151	山口屋寿司店のかまど炊き	伝統的生活文化	現在でも薪によるかまど炊きの炊飯を継続。	R02
中央 152	薬師町八柱神社社額★	書跡・典籍	有栖川熾仁親王、山岡鉄舟の揮毫各1面。	R02
中央 153	館山寺町愛宕神社社殿★	建造物	元禄16年に再建、7月に手筒花火を奉納。	R02
中央 154	館山寺聖観音像★	彫刻	昭和12年铸造、高さ約16mで当時は最大級。	R02
中央 155	賀茂輦音墓碑★	歴史資料	雄踏町。明治21年に賀茂水穂が建碑、铸铁製。	R02
中央 156	岐佐神社の赤猪石(あかいし)★	有形民俗文化財	舞阪町。大国主命の火傷治癒に関わる伝承。	R02
中央 157	宝珠院の海苔供養祭	無形民俗文化財	森田屋彦之丞と大森三次郎の墓前で供養祭。	R02
中央 158	弘法穴古墳★	史跡	館山寺町、横穴式石室。空海の修行伝承がある。	R02
中央 159	御嶽大神碑	歴史資料	明治期～大正期の御嶽信仰の石碑が残る。	R02
中央 160	堤村地券下図	歴史資料	寺院襖下張りから発見、地祖公課の基図か。	R02
中央 161	水晶六所神社境内★	歴史資料	青屋町。坂上田村麻呂伝承がある、水晶松があった。	R02
中央 162	兵藤家文書	古文書	旧引佐郡神宮寺村兵藤家に伝来した文書。	R02
中央 163	白昭(はくしょう)開拓村の区画★	文化的景観	昭和22年に入植した集落の区画と道路が残る。	R02
中央 164	曠原三方(こうげんみかた)	歴史資料	昭和初期の三方原台地の写真を収録した図書	R03
中央 165	浜松の大菊栽培技術	無形文化財	浜松菊花会会員が継承する大輪の菊栽培技術。	R03
中央 166	浜松風の型紙	有形民俗文化財	戦前の浜松まつりで揚げた各町の風絵の型紙。	R03
中央 167	浜松風の風絵	有形民俗文化財	昭和30年前後に使用した千歳町「天狗」の風絵。	R03
中央 168	浜松風の型紙 附 保管箱	有形民俗文化財	浜松まつりで揚げる風を受注した風絵の型紙。	R03
中央 169	浜松風の風絵	有形民俗文化財	昭和10年代に使用した肴町の「鶴」風絵ほか。	R03
中央 170	西大山の初午祭	無形民俗文化財	白山神社で毎年3月の午の日に開催される。	R03
中央 171	入野町織布工場	建造物	昭和30年以前に創業したのこぎり屋根の工場。	R03
中央 172	入野町織物工場	建造物	昭和11年に創業したのこぎり屋根の織物工場。	R03
中央 173	瀧本家土蔵	建造物	昭和9年に建設した米などを保管する農家の蔵。	R03
中央 174	浜松海岸の浜おり(浜ごり)	無形民俗文化財	遠州灘沿岸の集落に見られた正月ほかの行事。	R03
中央 175	いかり瀬の海浜植物群	天然記念物	浜名湖南部の干潟に、ハマゴウなどが群生する。	R03
中央 176	田地売渡証文	歴史資料	明治8年に作成された売買の証文。	R03
中央 177	旧石川鉄工場の鞆(ふいご)	歴史資料	ソミック石川創業者が使用していたもの。	R03
中央 178	気賀林頭彰碑(三富翁之碑)★	歴史資料	三方原町。気賀林の治績を記す。日下部鳴鶴書。	R03
中央 179	三方原開拓之碑(萬世不朽)★	歴史資料	三方原町。村の経営危機を救った村長らの功績。	R03
中央 180	三方原神社の忠魂碑★	有形民俗文化財	日露戦争以降の三方原村の戦死者を慰霊する。	R03
中央 181	四勇士之碑★	歴史資料	三方原町。住宅地を避けて墜落した爆撃機を記す。	R03
中央 182	三方原の道標★	歴史資料	追分の道標1点と三方原神社に移設された3点。	R03
中央 183	三方原士族屋敷跡	史跡	三方原開墾に入植した士族の屋敷の土手が残る	R03
中央 184	精鎮塚(しょうちんづか)★	歴史資料	三方原の戦いで徳川軍戦死者を祀ると伝える。	R03
中央 185	三方原大正開墾記念碑★	歴史資料	大正年間の三方原御料林開墾を記念する石碑。	R03
中央 186	横田保頭彰碑★	歴史資料	百里園製茶工場を経営した横田保を顕彰する。	R03
中央 187	渡辺素夫頭彰碑★	歴史資料	窮乏を救った三方原村長渡辺を顕彰する石碑。	R03
中央 188	三方原の馬頭観音像★	有形民俗文化財	巡視中に急死した志都呂陣屋の馬を供養する。	R03
中央 189	東三方の道標★	歴史資料	西国三十三観音に参詣した十人組が建立した。	R03
中央 190	旧陸軍三方原爆撃演習場視察築山	史跡	爆撃演習を将校が視察する、通称「お立ち台」。	R03

区	名称	種別	説明	年
中央	191 旧陸軍三方原爆撃演習場掩体壕	建造物	陸軍省航空部本部が対爆撃用に建設。径 10m。	R03
中央	192 三方原の半僧坊里程石★	有形民俗文化財	初生町。奥山半僧坊までの道筋。「三里廿九丁」。	R03
中央	193 長池排水壕★	史跡	初生町。台地上の旧兵舎や飛行場の排水対策用溝。	R03
中央	194 旧陸軍第七航空教育隊正門門柱	歴史資料	航空機の整備を担う初年兵を養成した施設の門。	R03
中央	195 三方原の中道★	近代化遺産	姫街道と金指道の間に通し、土族屋敷を配置。	R03
中央	196 日本博覧図静岡県初篇	歴史資料	百里園製茶場など市内の旧家他の銅版画集。	R04
中央	197 旧浜松市歌森鷗外原歌詞書簡	歴史資料	旧浜松市歌(森鷗外作詞)の歌詞を示した書簡。	R04
中央	198 衛生のうた(ちらし)	歴史資料	福島豊策作詞、鞍智逸平印刷、山葉寅楠発行。	R04
中央	199 鞍智逸平夫妻の肖像写真	歴史資料	開明堂の創業者・鞍智逸平夫妻の還暦写真。	R04
中央	200 渡辺素夫の肖像写真	歴史資料	第 4 代浜松市長、退任後に三方原村村長。	R04
中央	201 長久寺阿弥陀来迎図	絵画	先代住職以前から開蓮忌法要で使用。	R04
中央	202 長久寺前卓	工芸品	「西塚村 鈴木清五郎」「文政十三年」と刻字。	R04
中央	203 長久寺釈迦如来坐像	彫刻	長久寺の創建以来の本尊の可能性がある。	R04
中央	204 長久寺涅槃図	絵画	毎年涅槃会(2月15日)に法要する。大正期か。	R04
中央	205 長久寺十六善神図	絵画	江戸末か。修正会の正月3日間に法要する。	R04
中央	206 尾竹竹坡「日の出の図」	絵画	旧東海道沿いの旧家が所蔵していたと伝う。	R04
中央	207 間宮英宗墨跡	書跡	臨済宗奥山方広寺派管長の書。	R04
中央	208 間宮英宗画賛鐘馗図	絵画	臨済宗奥山方広寺派管長の画賛。	R04
中央	209 足利紫山扁額「以德報徳」	書跡	方広寺派管長・足利紫山。	R04
中央	210 河野宗寛画賛梅花図	書跡	方広寺派管長、「暗香浮動月黄昏」。	R04
中央	211 旧舞坂本陣扁額(阿部正弘筆)	書跡	「横琴対奇石」、老中・阿部正弘が揮毫した。	R04
中央	212 旧舞坂本陣扁額(井上馨筆)	書跡	「霞其實不居葦」、舞坂宿本陣で井上馨が揮毫。	R04
中央	213 西光寺聖観音菩薩立像	有形民俗文化財	秘仏で前立観音を拝する。明暦元年に寄進。	R04
中央	214 西光寺三十三観音像	有形民俗文化財	木造、高台に西国三十三札所の番号を朱書。	R04
中央	215 妙楽寺聖観音菩薩坐像	有形民俗文化財	元禄 4 年創建の黄檗宗観音寺の本尊と伝わる。	R04
中央	216 妙楽寺三十三観音像	有形民俗文化財	木造三十三観音像、全長は 24~34cm。	R04
中央	217 旧志都呂陣屋関係資料	歴史資料	五井松平家のキリシタン禁制と飾り格子を一括。	R04
中央	218 内山又十及び竹蔵頌徳碑★	歴史資料	佐浜町。内山又十と竹蔵の浜名湖埋立整備を記念。	R04
中央	219 一等三角点(三方原基線南端)★	建造物	神原町。明治 16 年設置、全国 14 の基線の一つ。	R04
中央	220 賀久留神社御旅所★	史跡	神ヶ谷町。神幸祭(西 01)で拝王子が注連縄を切る。	R04
中央	221 神久呂の民話	記憶遺産	「六平狐」など、13 の民話が伝えられている。	R04
中央	222 水神宮境内★	史跡	西山町。東神田川水源。賀久留神社奥の院とも。	R04
中央	223 西ノ谷の役行者像	有形民俗文化財	安行平にあった行者宮を明治 12 年に移設。	R04
中央	224 大久保陣屋跡★	史跡	大久保町。寛永 19 年に服部中家三代保俊が設置。	R04
中央	225 西見寺の初午	無形民俗文化財	旧花学院の初午が、西見寺に引き継がれている。	R04
中央	226 龍吐水(りゅうどすい)	歴史資料	「江戸浅草花川戸 龍吐水師 岡野庄三郎」。	R04
中央	227 三方原開拓の区画(三幸町)★	文化的景観	瑞穂・平手塚・千代田は防風林で囲まれた区画。	R04
中央	228 信玄街道★	伝承地	初生町。三方ヶ原へ信玄が進軍した経路と伝う。	R04
中央	229 宇津木大明神(通称いぼ神様)	有形民俗文化財	全国行脚した六部の供養塔。長久寺境内に移設。	R05
中央	230 西塚町の屋台	有形民俗文化財	昭和 23 年。10 月の祭礼では蒲神明宮に乗り入れる。	R05
中央	231 志都呂の獅子舞神楽	無形民俗文化財	元禄 11 年、五井松平氏のころ開始。町内を回る。	R05
中央	232 腰掛け岩★	伝承地	八幡宮。ヤマトタケル東征のおり、腰かけたと伝わる。	R05
中央	233 賀久留神社境内の石造物群★	歴史資料	江戸時代から昭和期まで寄進された石造物を一括。	R05
中央	234 大窪神社の祇園祭り	無形民俗文化財	進雄神社で行われてきた「祇園祭」を継承している。	R05
中央	235 御料地境界杭	歴史資料	三方原台地が明治期に御料地となったことを示す。	R05
中央	236 神原町神明神社境内★	史跡	昭和 34 年、新設した町のよりどころとして建設。	R05
中央	237 十牛図写	歴史資料	好徳寺本堂の襖の下張りに利用されていた。	R05
中央	238 三方ヶ原沽券地改正絵図	歴史資料	明治 7 年ころ、三方原の耕地ほかを表した絵図。	R05

区	名称	種別	説明	年
中央	239 徳川十六将図	絵画	江戸時代末ころの浮世絵版画(3枚組)を軸装。	R05
中央	240 紙本墨書「浜松茶所」	書跡	「茶 遠州濱松良ひ茶の出処娘やり多や茶を摘に」。	R05
浜名	001 金指市神様の祭祀	無形民俗文化財	近藤家の金指開発に由来する市場祭祀を継承。	H28
浜名	002 近藤季用の墓★	史跡	金指。旗本金指近藤家初代、実相寺庭園に近接。	H28
浜名	003 実相寺鐘楼門★	建造物	金指。実相寺の伽藍配置の一棟、明治期に改修。	H28
浜名	004 実相寺涅槃図	絵画	宝永7年(1710)、金指の豪商が寄贈。	H28
浜名	005 伝井平城跡★	伝承地	井伊家分家・井平氏の居城跡と伝わる。	H28
浜名	006 滝清水千手観音像★	彫刻	旧爆岩山清水寺の本尊。元禄9年(1696)寄進。	H28
浜名	007 松山聖観音像★	彫刻	寛文11年(1671)仏坂観音堂に寄進された石仏。	H28
浜名	008 松山馬頭観音像★	彫刻	江戸時代後期に、観音講が寄進。	H28
浜名	009 伝井平氏居館跡★	伝承地	井伊家分家・井平直時の居館跡と伝わる。	H28
浜名	010 井平氏墓所	史跡	井平直種と妻、嫡子弥三郎の墓所。	H28
浜名	011 伝井平氏の殿村居館跡	伝承地	井伊直平末子直種が井平氏を再興、居館とする。	H28
浜名	012 伊平の阿弥陀如来像	彫刻	「アミダ谷」に祭られていた石像を移転。	H28
浜名	013 林森神社境内★	史跡	伊平。天正8年(1580)、直種が六所神社として創建。	H28
浜名	014 野末甚左衛門の墓★	史跡	伊平。井平家の家老を務めた。文禄3年(1594)没。	H28
浜名	015 滝清水役行者像★	有形民俗文化財	旧清水寺の裏山山頂にある石像。	H28
浜名	016 長興寺聖観世音菩薩像	彫刻	嘉慶元年(1387)に開創した長興寺の本尊。	H28
浜名	017 東久留女木の万歳楽	無形民俗文化財	2月に阿弥陀堂で行う祭事、芸能は失われた。	H28
浜名	018 正泉寺涅槃図	絵画	元禄16年(1703)、京都で製作された大幅。	H28
浜名	019 本龍寺涅槃図	絵画	元文4年(1739)に制作。	H28
浜名	020 溪雲寺境内★	史跡	川名。井伊直平菩提寺。	H28
浜名	021 井伊直平の墓★	史跡	川名。三岳山北麓。幕末に彦根藩が墓碑を建立。	H28
浜名	022 伝鎧橋跡★	伝承地	川名。急死した井伊直平の鎧を脱がせたと伝う橋跡。	H28
浜名	023 井殿の塚★	史跡	井伊谷。井伊直満・直義墓所。タブノキがある。	H28
浜名	024 細江神社の祇園まつり	無形民俗文化財	明応地震の津波によるご神体の渡御を再現する。	H28
浜名	025 宮口の三階屋台	有形民俗文化財	文政4年(1821)年、名古屋の山車として建造。	H28
浜名	026 長久院文書	古文書	廃寺となった長久院の安政期文書を保管。	H28
浜名	027 中瀬村大橋家関係資料	歴史資料	旧中瀬村の歴史をまとめた資料。	H28
浜名	028 日本基督教団気賀教会礼拝堂	建造物	大正4年(1916)の木造建築。日曜礼拝見学可。	H29
浜名	029 岩水寺阿弥陀如来像	彫刻	平安時代の作と伝わる木造坐像。	H29
浜名	030 岩水寺仁王門★	建造物	根堅。元禄ころと伝わる境内最古の建造物。	H29
浜名	031 岩水寺大日如来像	彫刻	鎌倉時代の作と伝わる大型の木造坐像。	H29
浜名	032 岩水寺聖徳太子像	彫刻	江戸時代の作と伝わる木製立像。	H29
浜名	033 岩水寺青銅阿弥陀如来像	彫刻	正徳4年(1714)、京都の仏師による铸造坐像。	H29
浜名	034 岩水寺不動明王像	彫刻	安土桃山時代の作と伝わる木造立像。脇本尊。	H29
浜名	035 岩水寺毘沙門天像	彫刻	室町時代の作と伝わる木造立像。	H29
浜名	036 岩水寺愛染明王像	彫刻	室町時代の作と伝わる木造坐像。脇本尊。	H29
浜名	037 岩水寺薬師如来像	彫刻	白山神社の秘仏。江戸時代の作と伝わる立像。	H29
浜名	038 岩水寺十一面観音像	彫刻	安土桃山時代の作と伝わる木造立像。	H29
浜名	039 岩水寺千手観音像	彫刻	太子堂の秘仏。安土桃山時代作と伝わる立像。	H29
浜名	040 岩水寺妙見菩薩像	彫刻	秘仏。星祭りを司る仏。江戸時代の作と伝わる。	H29
浜名	041 岩水寺袖ヶ浦干水記	古文書	江戸時代。本尊子安地藏(重文)の由来を記す。	H29
浜名	042 岩水寺地安坊大権現像	彫刻	天保2年(1831)神名帳に記載される立像。	H29
浜名	043 岩水寺十二神将像	彫刻	秘仏。薬師堂の厨子に収まる。江戸時代の作。	H29
浜名	044 浜松城主井上正直屋敷図	古文書	江戸の井上家屋敷の図面が現存する。	H29
浜名	045 道本中村家の石蔵	建造物	昭和12年(1937)建築。伊豆石の蔵。	H29
浜名	046 心宝寺山門★	建造物	小林。永9年(1632)、青山忠俊が寄進したと伝。	H29



区	名称	種別	説明	年
浜名 047	馬門の神楽	無形民俗文化財	半僧坊と奥山神社で奉納、1700年頃から伝わる。	H30
浜名 048	奥山の手筒花火	無形民俗文化財	富幕、西四村、中村に保存会がある手筒花火。	H30
浜名 049	「小組」の屋台行事とお囃子	無形民俗文化財	子どもたちが生き人形として神社まで曳き回す。	H30
浜名 050	久留女木の棚田★	文化的景観	引佐町。日本の棚田百選。井伊家が開墾したという。	H30
浜名 051	寺島の道祖神	有形民俗文化財	道標を兼ねて置かれた舟形の道祖神。	H30
浜名 052	寺島山王の秋葉山常夜灯★	有形民俗文化財	明和5年(1768)建設、龍燈が鞘堂となっている。	H30
浜名 053	西隠寺椿薬師像	彫刻	椿の傍らの堂に2体がある。拝観は要連絡。	H30
浜名 054	岩水寺伽藍★	建造物	根堅。創建が古代に遡る古刹、多くの建物が並ぶ。	H30
浜名 055	地安坊(大権現)境内★	史跡	「根の方詣り」の中心となり、信仰を集めた。	H30
浜名 056	根堅祭りの神輿	有形民俗文化財	神仏混交の祭りで使用される大小の神輿。	H30
浜名 057	岩水寺白山神社境内★	史跡	根堅。坂上田村麻呂伝承に関わる俊光将軍を祀る。	H30
浜名 058	金刀比羅神社境内★	史跡	根堅。安永6年(1777)の火災以降に現在地に移転。	H30
浜名 059	金刀比羅神社格天井絵	絵画	嘉永年間の制作、62面それぞれ寄進者がある。	H30
浜名 060	金刀比羅神社巫女神楽	無形民俗文化財	安政3年(1856)から継続している巫女神楽。	H30
浜名 061	高根神社境内★	史跡	尾野。背後に磐座がある社殿、文亀2年(1502)建立。	H30
浜名 062	尾野の塹壕	史跡	昭和19年頃に本土決戦に備えた塹壕。	H30
浜名 063	東黒田奉行屋敷跡	史跡	近藤家の山奉行だった宮田家の屋敷跡。	R01
浜名 064	楠御前の墓★	伝承地	三岳城で宗良親王に従った女性の墓と伝わる。	R01
浜名 065	兎荷葺ノ奥山の行者様	有形民俗文化財	山頂の大岩の下に鎮座する。10月に祭祀。	R01
浜名 066	得月寺境内★	史跡	兎荷の寺院、応永32年の開創と伝わる。	R01
浜名 067	兎荷六所神社境内★	史跡	神社の裏山に雨の岩戸と呼ぶ磐座がある。	R01
浜名 068	兎荷鍾乳洞	天然記念物	全長190m、飲料水源のため立入は不可。	R01
浜名 069	初生衣神社おんぞ祭り	無形民俗文化財	赤引き糸を使った絹織物を伊勢神宮に奉納。	R01
浜名 070	滝沢の石垣集落景観★	文化的景観	戦国末期に山の南斜面を開発した集落。	R01
浜名 071	袖ヶ浦三十三観音霊場の観音像★	有形民俗文化財	各地に小島観音堂ほかに22体の観音像が現存。	R01
浜名 072	新原の阿弥陀三尊塚	有形民俗文化財	正徳2年新原村結衆中善願と刻む。	R01
浜名 073	中瀬四塔の秋葉山常夜灯鞘堂の欄間	有形民俗文化財	令和元年に取り壊された鞘堂の欄間のみを保存。	R01
浜名 074	中瀬の霞堤★	史跡	天竜川の洪水を減災するための堤防が現存。	R01
浜名 075	長久院涅槃図	絵画	廃寺となった寺院の絵図を保管、安政4年制作。	R01
浜名 076	庚申寺境内★	史跡	宮口。明徳元年開創、江戸時代の境内景観を残す。	R01
浜名 077	報恩寺境内★	史跡	宮口。宝永4年の再興。本堂は安政5年の建立。	R01
浜名 078	宮口洗沢の秋葉山常夜灯鞘堂★	有形民俗文化財	昭和5年に建立。切妻造りの屋根。	R01
浜名 079	宮口土取の賓頭盧尊者像	有形民俗文化財	安永3年の石仏、かつてここに徳林寺があった。	R01
浜名 080	大屋敷墳墓★	史跡	宮口。鎌倉時代の五輪塔がある積み石の墳墓。	R01
浜名 081	陽泰院境内★	史跡	宮口。永正3年開創、三十三観音霊場。	R01
浜名 082	宮口三十三観音霊場の観音像★	有形民俗文化財	8か所に複数の石仏を配置。嘉永3年と刻む。	R01
浜名 083	宮口野口辻の傍示木★	歴史資料	「ぼんじぎ」と呼ぶ。文化5年、秋葉街道沿い。	R01
浜名 084	九勇士の碑★	歴史資料	宮口。アメリカ軍に撃墜された旧陸軍の乗員慰霊碑。	R01
浜名 085	岩根薬師堂★	建造物	気賀。旧姫街道沿いにある堂。天保6年、方形寄棟。	R02
浜名 086	長楽寺扁額(独湛筆)★	書跡・典籍	気賀。黄檗宗独湛による「光岩山」、「長楽寺」の2面。	R02
浜名 087	内山牛松関係資料	歴史資料	家業のかたわら河童の絵を中心に描いた。	R02
浜名 088	日野屋関係資料	歴史資料	江戸後期に近江商人が開業した醸造店の資料。	R02
浜名 089	井伊谷二宮神社の先囃子	無形民俗文化財	8月10日、宗良親王の命日にあたる例大祭。	R02
浜名 090	才の神宿場の景観★	文化的景観	三ヶ日町。三州街道の平山越え国境にあたる旧道。	R02
浜名 091	平口足立家石蔵	建造物	大正末期建設。伊豆石を使用、高床式2階建て。	R02
浜名 092	金子家石蔵	建造物	木造2階建て、伊豆石張り、修復時は大谷石。	R02
浜名 093	正壽院絵図	絵画	寛政3年、十世・瀧峰和尚のころの境内を描く。	R02
浜名 094	不動寺今光明経塔★	彫刻	平口。金指近藤家が出世稲荷とともに寄進したもの。	R02

区	名称	種別	説明	年
浜名 095	徳川将軍家朱印状写	古文書	徳川幕府から正寿院への寺領安堵状の写し。	R02
浜名 096	八王子千人隊の墓碑★	歴史資料	内野台。明治初期、千人隊の一部が開墾した石碑。	R02
浜名 097	姥ヶ谷の半僧坊里程石	有形民俗	明治10年建立「四里」、旧道から現在地に移動。	R02
浜名 098	姥ヶ谷の道標	歴史資料	観音像と、「かさいみち」、「あきはみち」と刻む。	R02
浜名 099	姥ヶ谷植林記念碑	歴史資料	明治9年の山火事で焼けた痕に植林した記念。	R02
浜名 100	平口の道標群★	歴史資料	法師軒の道標「御大典記念」を認定。	R02
浜名 101	北浜の道標群★	歴史資料	北浜地区に残る道標を21件を一括して認定。	R02
浜名 102	中瀬畜産祭り関係資料	歴史資料	昭和29年、「中瀬畜産まつり」を記録した動画。	R02
浜名 103	第1回全日本豚共進会記念碑★	歴史資料	養豚の盛んな中瀬村が一等を受賞した記念碑。	R02
浜名 104	中瀬大平の道標★	歴史資料	大正8年設置、二俣・上島方面を示す。	R02
浜名 105	根堅の道標群★	歴史資料	根堅地区に残る道標9件を一括して認定。	R02
浜名 106	山下青厓記徳碑★	歴史資料	根堅。貴布祢出身の日本画家の記念碑、昭和6年。	R02
浜名 107	宮口の道標群★	歴史資料	宮口地区に残る道標2件を一括して認定。	R02
浜名 108	東美菌の道標★	歴史資料	観音像とともに、秋葉・宮口方面を示す。	R02
浜名 109	真光寺の烏枢沙摩明王像	有形民俗文化財	製作年不詳、現在も信仰の対象。	R02
浜名 110	真光寺の地藏菩薩像	有形民俗文化財	宝永年間の建立、眼病治癒の信仰がある。	R02
浜名 111	内野小島の如意輪観音像	有形民俗文化財	旧尼寺から移転。毎月10日に数珠送りがある。	R02
浜名 112	福応寺の北向観音堂★	有形民俗文化財	内野。享保12年、黄檗宗の法源禅師が建立した。	R02
浜名 113	内野小島の三十三観音像	有形民俗文化財	来歴不詳。西国三十三観音を模している。	R02
浜名 114	内野小島の阿弥陀如来像	有形民俗文化財	福応寺観音堂と対の阿弥陀堂があったという。	R02
浜名 115	正壽院の一字一石塔★	有形民俗文化財	内野台。安永8年、経典を書いた石を埋納した場所。	R02
浜名 116	平口新田の地藏菩薩像★	有形民俗文化財	墓地跡に建てられている。時代不詳。	R02
浜名 117	徳生寺の地藏菩薩像★	有形民俗文化財	平口。いたずら地藏。夜な夜な剃髪を求めたという。	R02
浜名 118	西福寺の弁財天像	有形民俗文化財	平口。江ノ島で弘法大師が製作した3体のうちという。	R02
浜名 119	不動寺の松尾芭蕉句碑★	有形民俗文化財	平口。芭蕉150年忌(弘化2年)、地域の句会が建立。	R02
浜名 120	平口新田の観音堂及び六地藏堂	有形民俗文化財	享保6年、大念仏の流行とともに48村で建立。	R02
浜名 121	平口の馬頭観音像	有形民俗文化財	大正7年、運送業を営んでいた先代が建立。	R02
浜名 122	平口新田の秋葉山常夜灯★	有形民俗文化財	天明5年製、石製、高さ165cm。	R02
浜名 123	大伝寺の弘法大師像	有形民俗文化財	文化13年、新四国八十八か所の結願寺。	R02
浜名 124	北浜の秋葉山常夜灯群★	有形民俗文化財	北浜地区の秋葉山常夜灯36件を一括して認定。	R02
浜名 125	北浜の馬頭観音像群★	有形民俗文化財	北浜地区の馬頭観音像10件を一括して認定。	R02
浜名 126	中条の山の神像	有形民俗文化財	森林に覆われていたところに勧請、時代不詳。	R02
浜名 127	上島の秋葉山常夜灯★	有形民俗文化財	昭和5年製、石製。2件。	R02
浜名 128	中瀬の秋葉山常夜灯群★	有形民俗文化財	中瀬地区の秋葉山常夜灯10件を一括して認定。	R02
浜名 129	中瀬の石仏★	有形民俗文化財	大野地藏堂にある、江戸時代か。	R02
浜名 130	中瀬の弘法大師像★	有形民俗文化財	明治期に建立、新東名建設で現在地に移設。	R02
浜名 131	四塔の観音堂及び道標★	有形民俗文化財	中瀬。大正4年道標ほか、観音堂は北側から移転。	R02
浜名 132	中瀬の馬頭観音像★	有形民俗文化財	約150年前、献上した愛馬の無事を祈って建立。	R02
浜名 133	中瀬の延命地藏像★	有形民俗文化財	木下久左衛門邸跡地、一門の講で維持している。	R02
浜名 134	中瀬の観音菩薩像★	有形民俗文化財	江戸時代末、伊勢参りの記念に建立したという。	R02
浜名 135	中瀬の地藏菩薩像★	有形民俗文化財	「西国三十三観音」ほか3体、享保・宝暦の年号。	R02
浜名 136	於呂のごうりん様★	有形民俗文化財	掘り出された五輪塔を祀る。のち六地藏を建立。	R02
浜名 137	赤佐の秋葉山常夜灯群★	有形民俗文化財	赤佐地区の秋葉山常夜灯8件を一括して認定。	R02
浜名 138	根堅の馬頭観音像★	有形民俗文化財	天保4年、石製。	R02
浜名 139	根堅の双体道祖神像★	有形民俗文化財	左の像は錫杖を持ち、右の像は頭に髪状がある	R02
浜名 140	根堅の耳足地藏像★	有形民俗文化財	人形山から降ろして祀る。子どもと遊ぶとの伝承。	R02
浜名 141	根堅の大原御前祠★	有形民俗文化財	江戸時代に菓草で病氣治癒をした御前を祀る。	R02
浜名 142	岩水寺の松島十湖句碑★	有形民俗文化財	明治24年建立、「山吹や人の富貴も水の泡」。	R02

区	名称	種別	説明	年
浜名 143	岩水寺の賀茂真淵歌碑★	有形民俗文化財	昭和期の建立、真淵が岩水寺を詠んだ歌。	R02
浜名 144	岩水寺の松尾芭蕉句碑★	有形民俗文化財	明治元年建立、芭蕉の旅立つ僧への句を刻む。	R02
浜名 145	尾野の馬頭観音像★	有形民俗文化財	馬頭観音の下に道標と「馬子連中」と刻む。	R02
浜名 146	養徳寺地蔵堂の石仏★	有形民俗文化財	尾野。六地蔵と如意輪観音3体、寛保元年が最古。	R02
浜名 147	宮口の馬頭観音像★	有形民俗文化財	荒地で発見されたものを梶池交差点に祀った。	R02
浜名 148	宮口の秋葉山常夜灯群★	有形民俗文化財	宮口地区の秋葉山常夜灯8件を一括して認定。	R02
浜名 149	藤村観音堂の石仏★	有形民俗文化財	宮口。創建年代不詳、大屋敷の集落で祀る。	R02
浜名 150	堀谷洞窟の不動明王像	有形民俗文化財	北側の集落内から洞窟内に移動、江戸時代。	R02
浜名 151	堀谷の秋葉山常夜灯★	有形民俗文化財	堀谷地区の秋葉山常夜灯2件を一括して認定。	R02
浜名 152	堀谷の馬頭観音像★	有形民俗文化財	堀谷地区の馬頭観音像2件を一括して認定。	R02
浜名 153	西美菌の延命地蔵像★	有形民俗文化財	享保元年(1716)、子育ての信仰がある。	R02
浜名 154	西美菌の常盤稻荷堂★	有形民俗文化財	100年近く前に地区で建立、昭和30年代建替え。	R02
浜名 155	東美菌の不動堂★	有形民俗文化財	平口不動寺から分霊を祀ったという。	R02
浜名 156	竜南の地蔵菩薩像★	有形民俗文化財	明治期に立身出世したとの願掛け伝承がある。	R02
浜名 157	八幡庚申堂の石仏★	有形民俗文化財	堂内に庚申様と如意輪観音の石像がある。	R02
浜名 158	上善地の青面金剛童子像★	有形民俗文化財	元禄16年。願掛けの時に縄でしぼるといふ。	R02
浜名 159	平口不動寺境内★	史跡	延宝16年、黄檗宗の寺院として開創。	R02
浜名 160	平口八幡神社境内★	史跡	現在の社殿は明治26年に再建。	R02
浜名 161	愛さどんボ跡	史跡	遊水地を「どんボ」といふ。かつては水車があった。	R02
浜名 162	於呂榑神社境内★	史跡	「鷲ノ宮」ともいふ。榑の周囲に神饌米を植えた。	R02
浜名 163	於呂八幡神社境内★	史跡	於呂神社末社。手水鉢に「享保二十年」とある	R02
浜名 164	人形山3号墳	史跡	6世紀後半、横穴式石室全長5.6m。	R02
浜名 165	將軍塚古墳	史跡	直径15m、高さ3mの円墳、横穴式石室。	R02
浜名 166	岩水寺八幡神社境内★	史跡	根堅。天正13年から明治期までの棟札を残す。	R02
浜名 167	高根山古墳	史跡	6世紀、高根神社背後の古墳群で最大規模。	R02
浜名 168	堀谷六所神社境内★	史跡	六所神社は元禄12年勧請、周囲に大木がある。	R02
浜名 169	堀谷荒鉦(あらはばき)神社境内★	史跡	参道の両側に磐座がある。巨岩信仰と思われる。	R02
浜名 170	堀谷清水井戸跡★	史跡	地区唯一の遊水地、生活用水。現在は痕跡。	R02
浜名 171	座禅岩	名勝	明德4年来訪した洞巖玄鑑が座禅した岩という。	R02
浜名 172	上臈岩及び御座岩	名勝	民話「大原御前」に登場する。現地踏査は不可。	R02
浜名 173	岩水寺鍾乳洞	天然記念物	長さ114m。七夕豪雨で崩落、現在は立入禁止。	R02
浜名 174	根堅鍾乳洞	天然記念物	内部に滝と池があった。現在は立入禁止。	R02
浜名 175	白昭開拓村の区画★	文化的景観	昭和22年に入植した集落の区画と道路が残る。	R02
浜名 176	根堅石灰窯跡	近代化遺産	安永3年創業の石灰産出場所に残る施設。	R02
浜名 177	中川寺の宝篋印塔(おんころ様)★	有形民俗文化財	中川。三方原で戦死した信玄家臣を供養したと伝う。	R03
浜名 178	旧井伊郷の地の神祭祀	無形民俗文化財	一門・同族による地の神祭祀。5か所を認定。	R03
浜名 179	河西訓導殉職関係資料	歴史資料	昭和2年の都田川洪水での殉職者に関係する。	R03
浜名 180	本坂高札場跡★	史跡	姫街道沿い、本坂宿の庄屋前の丁字路にある。	R03
浜名 181	本坂の秋葉山常夜灯★	有形民俗文化財	姫街道沿い、本坂宿の高札場跡に隣接する。	R03
浜名 182	中安家土蔵	建造物	織布業を営んだ中安家の大型2階建ての土蔵。	R03
浜名 183	寺島の半僧坊里程石★	有形民俗	笠井から半僧坊への参詣路沿い、一括して認定。	R03
浜名 184	八方地蔵尊境内★	史跡	中瀬。延宝8年に畑から発見された地蔵を祀る。	R03
浜名 185	貞明皇后中瀬行啓関係資料	歴史資料	昭和23年、大正皇后が行啓された記録映像。	R03
浜名 186	中瀬の干し芋	伝統生活文化	明治後期、大藤から干し芋の製法が導入された。	R03
浜名 187	江間猪佐美歌碑★	有形民俗文化財	中瀬。昭和4年、中瀬出身の江間が故郷に寄進。	R03
浜名 188	中瀬天神社境内★	史跡	普賢院の鎮守。正保2年の棟札が残る。	R03
浜名 189	並松稻荷神社境内★	史跡	中瀬。明治33年再建の棟札。大原一門で祀る。	R03
浜名 190	八雲神社境内★	史跡	高畑。天正19年再建の記録がある。創立年は不詳。	R03

区	名称	種別	説明	年
浜名 191	横須賀諏訪神社境内★	史跡	文明元年再建の棟札が残る。創立年は不詳。	R03
浜名 192	沼の地蔵菩薩像★	有形民俗文化財	無縁仏を整理した堂に金谷の地蔵尊を分霊。	R03
浜名 193	沼八幡宮境内★	史跡	天正14年、太田沼之助が石清水から勧請。	R03
浜名 194	須佐之男神社境内★	史跡	貴布祢。疫病が流行したことで、大正7年に建設。	R03
浜名 195	下小林八幡宮境内★	史跡	寛永4年、塾居中の青山忠俊の家臣が寄進した。	R03
浜名 196	上小林稲荷神社境内★	史跡	明德年間(14世紀)に修造したという記録がある。	R03
浜名 197	道本の子安堂★	建造物	文化12年に美菌の大工・大石瀬左衛門が再建。	R03
浜名 198	道本於呂神社境内★	史跡	創立年不詳。明暦元年(1655)再建の棟札がある。	R03
浜名 199	西美菌諏訪神社境内★	史跡	毎年8月の祭礼前夜に、花火打ち上げを行う。	R03
浜名 200	素戔之男吾妻神社境内★	史跡	西美菌。明治7年諏訪神社に合祀、同11年に分祀。	R03
浜名 201	東美菌八幡宮境内★	史跡	天正12年に八幡宮として再建。平成14年改築。	R03
浜名 202	油一色八幡宮境内★	史跡	慶長8年に豊前から勧請したと伝わる。	R03
浜名 203	本沢合水神社境内★	史跡	伝正保2年創建。延宝3年再建の棟札が残る。	R03
浜名 204	貴布祢薬師堂★	建造物	寛文13年、井川村の薬師堂から分霊して建立。	R03
浜名 205	全心坊の地蔵菩薩像★	有形民俗文化財	貴布祢。旅の僧が疫病退散を願い即身仏となる。	R03
浜名 206	長泉寺境内★	史跡	貴布祢。応永8年真言宗長泉庵、後臨済宗に改宗。	R03
浜名 207	長泉寺山門★	建造物	貴布祢。浜松城主・井上下屋敷の門を移築。	R03
浜名 208	自徳院境内★	史跡	小林。応永5年開創、臨済宗方広寺派。	R03
浜名 209	自徳院の多層塔★	有形民俗文化財	小林。14世紀後半、安山岩製。塔身と2層分の屋根。	R03
浜名 210	心宝寺境内★	史跡	小林。大永5年開創、臨済宗方広寺派。	R03
浜名 211	一林寺境内★	史跡	東美菌。承応元年開創、享保年間に学園寺の末。	R03
浜名 212	常光院境内★	史跡	油一色。慶長8年、大宝寺の常光和尚が建立した。	R03
浜名 213	多宝院境内★	史跡	西美菌。天文元年ころ開創。昭和59年再建。	R03
浜名 214	龍現寺境内★	史跡	本沢合。寛永年間、大宝寺の本峰和尚が開創と伝う。	R03
浜名 215	伊目の精霊流し	無形民俗文化財	8月16日、伊目の入江から灯籠を湾奥まで流す。	R04
浜名 216	伊奈の弘法大師像	有形民俗文化財	地元では「伊奈大師」と呼び、毎年祭りをする。	R04
浜名 217	伊目の秋葉山常夜灯★	有形民俗文化財	寛政年間に伊目村の建てられた石塔と龍灯。	R04
浜名 218	水岩山疣観音と石仏群★	有形民俗文化財	小野。井伊谷川の涸で4月第一日曜に祭礼がある。	R04
浜名 219	法源禅師扁額「水岩山」★	書跡	法源禅師の扁額。姫街道銅鐸資料館保管。	R04
浜名 220	旧軽便鉄道奥山線井伊谷川橋脚★	建造物	小野。旧軽便・奥山線の井伊谷川鉄橋の橋脚基部。	R04
浜名 221	犬くぐり道★	伝承地	気賀。住民の往来のため、方便として設けた裏道。	R04
浜名 222	中川の条里制遺構★	文化的景観	都田川下流に施工された条里制水田跡。	R04
浜名 223	引佐細江とみをつくし★	文化的景観	姫街道の引佐峠など、浜名湖が眺望できる景観。	R04
浜名 224	千日堂の念仏	無形民俗文化財	宝永年間から千日講。現在でも毎月9日に開催。	R04
浜名 225	千日堂阿弥陀如来坐像	有形民俗文化財	宝永年間に千日講本尊として阿弥陀仏を祀った。	R04
浜名 226	千日堂聖観音立像	有形民俗文化財	寛文11年、近藤家下屋敷から観音を移し祀る。	R04
浜名 227	老ヶ谷の六地藏★	有形民俗文化財	刑死者の霊を慰めるために建設されたと伝う。	R04
浜名 228	獄門堰★	史跡	気賀。永禄12年堀川城攻めで住民約700人が刑死。	R04
浜名 229	気賀宿の枳形遺構★	史跡	気賀宿の西入口。南側の石垣だけが残る。	R04
浜名 230	藺草神社★	史跡	宝永地震後、琉球藺を奨励した近藤用随を祀る。	R04
浜名 231	田米寺橋南の道標★	歴史資料	中川。「右 あきはみち」「左かなさしみち」。	R04
浜名 232	田米寺橋南の秋葉山常夜灯★	有形民俗文化財	中川。都田川南岸の秋葉道、河川改修のため移転。	R04
浜名 233	宿名の六地藏(雲泉寺跡)★	史跡	中川。雲泉寺跡に六地藏だけが残る。	R04
浜名 234	井伊直親の墓★	史跡	中川。嘉永4年に井伊直弼が灯籠を寄進。	R04
浜名 235	細江八景の句碑★	有形民俗文化財	気賀。鈴木角平が門人とともに建てた。	R04
浜名 236	細江八景の扁額	書跡	鳳来寺の設楽春山によって扁額とする。	R04
浜名 237	三方ヶ原の戦い史跡碑★	歴史資料	中川。大正13年、当時の中川村村長が建立した。	R04
浜名 238	西光院境内★	史跡	於呂。正保元年、龍泉寺二世・月巢香鶴を迎え開山。	R04

区	名称	種別	説明	年
浜名 239	於呂神社境内★	史跡	延喜式の「於呂神社」に比定される。	R04
浜名 240	於呂神社内古墳	史跡	径 23.8m高さ 3.9mの大型円墳。刀剣ほか出土。	R04
浜名 241	於呂の馬頭観音像	有形民俗文化財	秋葉街道沿いにある石造馬頭観音像。	R04
浜名 242	安泰寺境内★	史跡	根堅。方広寺四世の仲翁建澄和尚の創設。	R04
浜名 243	龍泉寺境内★	史跡	根堅。明徳 4 年、洞巖玄鑑が開山。当時は雲巖寺。	R04
浜名 244	松杉神社境内★	史跡	根堅。享保 8 年頃、集落の病氣平癒祈願と伝う。	R04
浜名 245	雲岩寺六所神社境内★	史跡	根堅。雲岩寺(現在の竜泉寺)の産土神として創建。	R04
浜名 246	根堅山住神社境内★	史跡	戦国時代に岩水寺の守り神として建立。	R04
浜名 247	田村将軍神社境内★	史跡	根堅。坂上田村麻呂伝説により、明治末に創建。	R04
浜名 248	金城稻荷神社境内★	史跡	根堅。茶吉尼天と本地仏白晨狐菩薩を祀る。	R04
浜名 249	毘沙門宮跡★	史跡	根堅。明治期に取り壊された毘沙門宮の跡、更地。	R04
浜名 250	根堅相野の地蔵菩薩像	有形民俗文化財	「おもて志は本道権口」、「此方気賀かなさし道」。	R04
浜名 251	根堅祭典	無形民俗文化財	8 月 24 日、岩水寺と山住神社の神輿が巡行する。	R04
浜名 252	根堅山住神社御旅所★	有形民俗文化財	岩水寺地安坊と山住神社の神輿が渡御する。	R04
浜名 253	根堅遺跡	史跡	昭和 37 年、旧石器時代の「浜北人」人骨が出土。	R04
浜名 254	岩水寺遊園地跡	史跡	鉄道敷設以降の遊園地やホテルなどの跡地。	R04
浜名 255	岩水寺石灰採掘工場跡	史跡	江戸時代から昭和 50 年までの石灰岩採掘場跡。	R04
浜名 256	北谷遺跡	史跡	岩水寺墓地付近の丘陵にある縄文時代の遺跡。	R04
浜名 257	大宝寺境内★	史跡	尾野。応永年間、竜泉寺末として開創、現在地移転。	R04
浜名 258	八面神社境内★	史跡	尾野。寛永 17 年再興の神札がある。現在地に再興。	R04
浜名 259	行幸記念碑★	歴史資料	尾野。昭和 21 年の天皇行幸を記念して建てた。	R04
浜名 260	温故塾跡地	史跡	尾野村の庄屋らが開いた教場、「温故塾」と命名。	R04
浜名 261	中瀬招魂社境内	史跡	昭和 19 年戦没者遺族が原野を開拓、後に社。	R04
浜名 262	津島神社境内★	史跡	新原。江戸時代は牛頭天王、神仏分離令で改名。	R04
浜名 263	新原の馬頭観音像群★	有形民俗文化財	秋葉道の辻に建立。初午の日に菓子を配る。	R04
浜名 264	瑞應寺境内★	史跡	新原。三方ヶ原の戦いで着陣した信玄家臣が建立。	R04
浜名 265	宝幢寺境内★	史跡	大平。宗良親王供養のため家見慧琳を招いて開山。	R04
浜名 266	大平六所神社境内★	史跡	この地に逗留した霊力のある旅の老婆を祀る。	R04
浜名 267	須部玉稻荷神社境内★	史跡	大平。新東名建設によって現在地に移転。	R04
浜名 268	大平の石造仏	有形民俗文化財	大平地内の石造物を一括して認定。	R04
浜名 269	カラネコ様(唐猫様)石碑	有形民俗文化財	大平。鼠を退治した猫の置物を祀ってあった場所。	R04
浜名 270	大平伏見稻荷	有形民俗文化財	かつて勧請した伏見稻荷を移設。	R04
浜名 271	大平の秋葉山常夜灯★	有形民俗文化財	集落内の2件を一括。	R04
浜名 272	灰木六所神社境内★	史跡	元禄 14 年修復の記録がある。昭和 12 年に改築。	R04
浜名 273	灰木のアンデラ	有形民俗文化財	庚申寺末の尼寺で、地元では「アンデラ」と呼ぶ。	R04
浜名 274	灰木の秋葉山常夜灯	有形民俗文化財	石灯籠、明治期か。「講中安全」とある。	R04
浜名 275	徳泉寺境内★	史跡	堀谷。明徳年間創建、現在地移転。木喰仏を所蔵。	R04
浜名 276	堀谷洞窟遺跡	史跡	縄文土器が出土、不動明王が祀られている。	R04
浜名 277	學園寺境内★	史跡	高菌。今川義元と二俣昌長夫妻を中興開基とす。	R04
浜名 278	龍守院境内★	史跡	上善地。本尊、地蔵菩薩・千手観音ほかが並ぶ。	R04
浜名 279	玉脇稻荷神社境内	史跡	伏見稻荷から玉脇神社という名をもらい勧請。	R04
浜名 280	横須賀若宮神社境内★	史跡	延宝 6 年の青山領分絵図には若宮神社と記載。	R04
浜名 281	高菌八幡神社境内★	史跡	天承年間創建と伝える。万治元年に再建。	R04
浜名 282	恩光寺境内★	史跡	宮口。身延山の直末・遠光寺として開山。	R04
浜名 283	恩光寺七面堂天井の花鳥画	絵画	身延山の七面堂の分身。宝暦 7 年移築。	R04
浜名 284	祝田坂★	史跡	武田信玄隊が三方ヶ原を下った道筋のひとつ。	R05
浜名 285	細江小唄	記憶遺産	昭和 30 年細江町成立時に制作。姫様道中に導入。	R05
浜名 286	伊目の大坪観音	有形民俗	おできに効果があるとされ信仰を集めた。	R05

区	名称	種別	説明	年
浜名 287	伊目の観音像★	有形民俗	聖観音と思われる石像と「観世口」と刻む石碑がある。	R05
浜名 288	寸座の道標	歴史資料	佐久目に向かう旧道にあたるという。「さく口」と刻む。	R05
浜名 289	寸座の十三仏石碑★	有形民俗	小石峠にあったという。自然石に「十三佛」と刻む。	R05
浜名 290	旧小野公民館装飾瓦	歴史資料	昭和 10 年建設した旧公民館の屋根瓦を保存する。	R05
浜名 291	小野の大念仏の鉦	有形民俗	明治末期まで小野で行われた大念仏の鉦を保管。	R05
浜名 292	光月神社境内★	史跡	元は光月坊、廃仏毀釈で光月神社となる。齒の神様。	R05
浜名 293	小野の馬頭観音像★	有形民俗	笹方峠が開通後、奥山へ向かう街道にある。2 点。	R05
浜名 294	正明寺の永代三日夜燈★	有形民俗	幕末の騒動が解決した記念として、住民が寄進した。	R05
浜名 295	正明寺山門★	建造物	廃仏棄釈で廃寺となった刑部の宗安寺山門を移築。	R05
浜名 296	名倉藤三郎墓碑★	歴史資料	三遠農学社の名倉藤三郎の墓、松島十湖が揮毫。	R05
浜名 297	細江神社の永代三日夜燈★	有形民俗	幕末の騒動が解決した記念として、住民が寄進した。	R05
浜名 298	真光寺の寿命経塔★	有形民俗	高さ約 5m の石塔、中央部に阿弥陀如来を祀る。	R05
浜名 299	山田の道祖神と馬頭観音★	有形民俗	姫街道沿いにある道祖神と馬頭観音像 2 点。	R05
浜名 300	跡川楊★	伝承地	「跡川楊」の推定地。『万葉集』の歌碑を建設。	R05
浜名 301	山田一里塚★	史跡	姫街道の江戸から 69 里目の一里塚跡。塚は滅失。	R05
浜名 302	岩根の秋葉山常夜燈★	有形民俗	文化 2 年に建立された。姫街道は秋葉道を兼ねた。	R05
浜名 303	五味半島★	文化的景観	姫街道小引佐峠から見た浜名湖に突き出た景勝地。	R05
浜名 304	青春像★	歴史資料	昭和 48 年度の細江町青年団中央支部が製作。	R05
浜名 305	都田の連理木のエノキ★	天然記念物	戦後の三方原開拓地に生えていた連理木を保存。	R05
浜名 306	若宮八幡宮境内★	史跡	延宝 7 年(1679)再建、現在の社殿は平成 6 年再建。	R05
浜名 307	目星大神★	有形民俗	馬込川の目星橋付近で眼病などの効力が伝わる。	R05
浜名 308	新原の秋葉山常夜燈★	有形民俗	昭和 41 年以前建立、現在でも代参が行われている。	R05
浜名 309	新原の道標群★	歴史資料	新原本村と東原の道標(如意輪観音)の 2 点を一括。	R05
浜名 310	大平(おいだいら)経塚★	伝承地	付近の小字名「経塚」の地に土盛が残る。	R05
浜名 311	枕瀬橋★	建造物	明治 16 年の都田川架橋から架け替えを繰り返す。	R05
浜名 312	高根山防空壕	史跡	高根山北斜面にある手掘りの防空壕、奥行き 10m。	R05
浜名 313	上島諏訪神社境内★	史跡	昭和 6 年に天竜川改修工事で現在地へ移転した。	R05
浜名 314	中瀬津島神社境内★	史跡	享保年間の創建と伝う。境内に蚕影神社がある。	R05
天竜 001	赤石構造線赤石裂線★	天然記念物	直線的な断層崖を旧信州街道が縦断する。	H28
天竜 002	鹿島の船宿	建造物	田代家に隣接。明治時代に筏師が宿泊。	H28
天竜 003	熊平家住宅	建造物	明治 26 年(1893)建築、ケヤキを多用している。	H28
天竜 004	米沢(みなさわ)のごんぐら	建造物	村の年貢米を備蓄した「郷倉」、移築と伝わる。	H28
天竜 005	石神市場の竜燈様★	有形民俗文化財	秋葉常夜燈の鞘堂。常夜燈は文化 6 年(1806)。	H28
天竜 006	旧順誠堂齋藤医院	建造物	明治 20 年(1887)建設の医院。外観のみ見学可。	H28
天竜 007	二俣町二俣の秋葉山道標★	有形民俗文化財	「右秋葉、光明」、「左浜松、右鳳来」と刻む。	H28
天竜 008	玖延寺弘法大師像	有形民俗文化財	弘法大師と観音 2 体を三尊に刻む石像。	H28
天竜 009	長光寺涅槃図	絵画	宝暦 5 年(1755)、栄林寺と構図が似る。	H28
天竜 010	玖延寺涅槃図	絵画	天明 2 年(1782)京都にて製作。	H28
天竜 011	栄林寺涅槃図	絵画	元禄元年(1688)寄進。猫を描く。	H28
天竜 012	旧石神小学校校舎★	建造物	石神。昭和 2 年(1947)建設、木造 2 階建て。	H28
天竜 013	笹岡城跡	史跡	天竜区役所付近にあった古城。曲輪が残る。	H28
天竜 014	光明電鉄阿蔵トンネル	近代化遺産	昭和 3 年開業、11 年廃線の軌道跡。	H28
天竜 015	光明電鉄二俣口駅ホーム跡★	近代化遺産	二俣町阿蔵。昭和 3 年開業、11 年廃線の軌道跡。	H28
天竜 016	浦川歌舞伎	無形民俗文化財	尾上栄三郎を偲ぶ村歌舞伎、平成元年復活。	H28
天竜 017	佐久間竜神の舞	無形民俗文化財	昭和 32 年に佐久間ダム殉職者の供養で開始。	H28
天竜 018	長養寺涅槃図	絵画	安永 9 年(1780)作。会衆の名前を表記する。	H28
天竜 019	長養寺馬頭観音像	有形民俗	合掌型の石像。製作年不詳。	H28
天竜 020	長養寺道祖神★	有形民俗	船明。天保 14 年(1843)、石像、秋葉街道から移築。	H28

区	名称	種別	説明	年
天竜 021	八幡神楽	無形民俗文化財	八幡宮矢場開きの獅子舞、昭和初期に復活。	H28
天竜 022	クロツバメシジミとツメレンゲ	天然記念物	準絶滅危惧種とその食草を高校生が保護する。	H28
天竜 023	気多森林鉄道関係資料	歴史資料	車輛に使用された車輪と記録写真を保管。	H28
天竜 024	白倉峡★	名勝	龍山町大嶺。新緑や秋の紅葉が美しい峡谷。	H28
天竜 025	旧光明村立山東尋常小学校門柱★	建造物	山東。大正14年の大正天皇銀婚を祝して建設。	H29
天竜 026	大野一本桜★	天然記念物	水窪町。旧大野分校校庭にある。樹齢172年(H29)。	H29
天竜 027	水窪(みさくぼ)まつり	無形民俗文化財	大正9年(1930)開始、三社合同の祭礼。	H29
天竜 028	足神社境内★	史跡	水窪町。青崩峠に向かう信州街道沿い。	H29
天竜 029	わんやの蔵	建造物	明治40年(1907)建設、総2階建ての土蔵。	H29
天竜 030	藤井陶器店の蔵	建造物	慶応4年(1868)建設、2棟。見学不可。	H29
天竜 031	天龍橋料金入箱	歴史資料	明治44年から鹿島橋の通行料を徴収した箱。	H29
天竜 032	芋掘神楽	無形民俗文化財	日月神社秋季例祭で奉納される。	H29
天竜 033	松島神楽	無形民俗文化財	明和4年(1767)開始、御嶽神社で12演目。	H29
天竜 034	二俣新町南嶺連屋台	有形民俗	明治期の製作。二俣諏訪神社の祭礼の屋台。	H29
天竜 035	龍山町瀬尻の不動の滝★	名勝	幾重かある滝のひとつ、落差32m。	H29
天竜 036	鹿島の花火	無形民俗文化財	明治8年(1875)頃、椎ヶ脇神社奉納として開始。	H29
天竜 037	マルカワの蔵	建造物	大正15年以前建設。店舗兼住宅と連結。	H29
天竜 038	旧鎌田屋商店のガソリン計量器★	歴史資料	二俣町。昭和2年(1927)に設置。高さ240cm。	H29
天竜 039	旧鎌田屋商店	建造物	昭和16年以前の商家。見学不可。	H29
天竜 040	袴田喜長翁顕彰碑★	歴史資料	二俣川の掘割を建設した袴田喜長を顕彰する。	H29
天竜 041	六郎沢の水辺空間★	文化的景観	熊。六郎沢の山間地稲作の景観とホテルの生息地。	H29
天竜 042	二俣まつり	無形民俗文化財	諏訪神社の祭礼、13台の屋台を曳きまわす。	H29
天竜 043	二俣医院	建造物	大正期の木造建築を残す医院。	H29
天竜 044	二俣医院の蔵	建造物	明治30年に移築、座敷蔵として使用された。	H29
天竜 045	旧米徳酒店	建造物	昭和の看板建築がある旧酒店。立入は不可。	H29
天竜 046	旧陣屋旅館	建造物	木造3階建ての旅館として営業した。立入不可。	H29
天竜 047	鈴木徳十商店の蔵	建造物	明治20年代に建設。茶業を営んだ蔵。	H29
天竜 048	旧熊切小学校木造校舎玄関彫刻	彫刻	明治17年に製作され、小学校の玄関を飾った。	H29
天竜 049	出征兵士歓迎迎台	歴史資料	昭和13年に旧熊切村が建設、兵士を見送った。	H29
天竜 050	秋葉山表参道★	史跡	春野町坂下から秋葉寺を経由し上社への参道。	H29
天竜 051	藤屋醤油店	建造物	二俣町。明治10年頃建築。店舗部分のみ見学可。	H29
天竜 052	小沢義助像台座	歴史資料	昭和8年、碑文は犬養毅。当時の銅像は供出。	H29
天竜 053	鳥羽山洞門★	近代化遺産	二俣町。明治32年竣工の隧道。坑道はレンガづくり。	H29
天竜 054	旧和田医院の蔵	建造物	昭和8年上棟の棟札がある道具蔵。	H29
天竜 055	下阿多古の消防手曳ガソリンポンプ	歴史資料	大正12年製造、下阿多古村で寄贈された。	H29
天竜 056	清瀧寺涅槃図	絵画	制作年不詳ながら奈良型の構図として希少。。	H30
天竜 057	清瀧寺信康廟★	史跡	二俣町。二俣城で自刃した信康をまつる。延宝6年。	H30
天竜 058	熊市場の時計台台座	歴史資料	大正後期の時計台の台座。	H30
天竜 059	熊の鏡石★	史跡	円形の岩。向きを変えたという伝承がある。	H30
天竜 060	熊の黒滝★	名勝	上下2段の滝、付近に不動尊をまつる。	H30
天竜 061	神沢の庚申塔★	有形民俗文化財	文政4年(1821)、青面金剛を精緻に彫る。	H30
天竜 062	荒沢不動の滝★	名勝	神沢。枯山の裾にある男滝、女滝と称する2本の滝。	H30
天竜 063	大日山守護神堂★	有形民俗文化財	神沢。延徳3年(1491)の棟札が残る。神と仏をまつる。	H30
天竜 064	大日山浄水井戸★	史跡	神沢。通称「水の口」にある井戸跡。大日詣の入口。	H30
天竜 065	大栗安の棚田★	文化的景観	標高450m前後の2か所に展開する棚田。	H30
天竜 066	高札(五榜の掲示第五札)	歴史資料	慶応4年明治政府の高札のうち。個人宅で保管。	H30
天竜 067	田河内の秋葉山常夜灯鞘堂★	有形民俗文化財	春野町、川根との街道沿い。江戸時代の創建と伝う。	H30
天竜 068	龍勢社屋台幕	有形民俗文化財	明治末期に京都から購入した「双竜」の屋台幕。	H30

区	名称	種別	説明	年
天竜 069	水窪の祇園祭り	無形民俗文化財	6月14・15日の祇園に限り、花火を上げる。	H30
天竜 070	山王岩峰の仏像	有形民俗文化財	明和元年(1764)、役行者の木造と石仏を納める。	H30
天竜 071	水窪の削り花	無形民俗文化財	小正月(1月14・15日)に木の枝を削って飾る。	H30
天竜 072	二俣古城連の屋台	有形民俗文化財	明治30年建造。水引幕は大正14年に製作。	R01
天竜 073	横山八幡神社の祭礼	無形民俗文化財	8/14,15に神輿渡御と屋台引き回しがある。	R01
天竜 074	光明勝栗(こうみょうからぐり)	伝統的生活文化	天正3年光明村が徳川家康に献上した搗栗。	R01
天竜 075	峰之澤橋★	建造物	龍山町。橋長157m、昭和30年代初めの人道吊橋。	R01
天竜 076	龍山橋★	建造物	龍山町。橋長164m、1971年に建設した人道吊橋。	R01
天竜 077	水窪じゃがた	伝統的生活文化	水窪に伝わるジャガイモの在来種、小ぶり。	R01
天竜 078	瀬尻のぶか凧	無形民俗文化財	江戸時代後期に始まる、初節句を祝う凧あげ。	R01
天竜 079	六十六部供養塔及び教傳様神号石	有形民俗文化財	享保年間(1726頃)の山岳修験者の記念塔。	R01
天竜 080	旧太田製作所のトロッコ軌道跡	近代化遺産	最盛期に50余の製材工場があり、レールが残る。	R01
天竜 081	横山の雨乞淵★	名勝	落差12m、雨ごいで大蛇が雨を降らせたと伝う。	R01
天竜 082	横山の不動の滝★	名勝	落差6m、行者の修行の場。不動尊を祀る。。	R01
天竜 083	佐久の稚児の滝★	名勝	落差15m、光明寺の稚児が修行したと伝わる。	R01
天竜 084	鳥羽山の掘割★	史跡	寛政元年、袴田喜長が掘削した二俣川放水路。	R01
天竜 085	二光の滝★	史跡	山東。昭和7年、二俣川の流路を付替で生じた段差。	R01
天竜 086	浦川の街並み★	伝統的建造物群	佐久間町。養蚕や木材の集散地として面影を残す。	R01
天竜 087	松本屋旅館	建造物	春野町。明治10年創業、大正3年大火後の移築。	R01
天竜 088	竜川地区忠霊塔★	建造物	昭和34年建設、六角堂に地区の戦没者を祀る。	R02
天竜 089	雲名秋葉橋★	建造物	橋長204mの吊橋、現橋は昭和46年架設。	R02
天竜 090	領家秋葉橋★	建造物	大正15年架橋、鋼ブラットラス橋、橋長94m。	R02
天竜 091	九里橋★	建造物	春野町。昭和38年竣工、秋葉山表参道の起点。	R02
天竜 092	若身橋★	建造物	春野町。大正15年架設。RC桁、全長32m。	R02
天竜 093	浦川学校扁額(榎本武揚筆)	書跡・典籍	明治年間に、金原明善の仲介で榎本が揮毫。	R02
天竜 094	二俣諏訪神社祭典記録	歴史資料	明治32年(1899)～昭和27年(1952)の年番記録。	R02
天竜 095	清瀧寺寺領絵図	歴史資料	元禄頃の清瀧寺周辺を描く。信康廟ほかも表記。	R02
天竜 096	高札(五榜の掲示第五札)	歴史資料	明治政府の布告、第五札「郷村脱走の禁止」。	R02
天竜 097	行者山の役行者像★	有形民俗文化財	春野町。宝暦2年建立、護摩炊きの後で炭を拾う。	R02
天竜 098	瑞雲院の龕(がん)	有形民俗文化財	昭和初期まで野辺送りに使われた座棺用の輿。	R02
天竜 099	静修地区の龕(がん)	有形民俗文化財	昭和初期まで使用、50年代まで祭壇で使用。	R02
天竜 100	和泉平地区の龕(がん)	有形民俗文化財	昭和初期まで野辺送りに使った輿形の葬送具。	R02
天竜 101	筏戸大上地区の龕(がん)	有形民俗文化財	昭和初期まで使用、平成末まで祭壇で使用。	R02
天竜 102	花島地区の龕(がん)	有形民俗文化財	四角形、昭和50年代まで使用していた。	R02
天竜 103	宮川里原地区の龕(がん)	有形民俗文化財	昭和35年頃まで使用。白木造り。	R02
天竜 104	春野町豊岡篠原地区の龕(がん)	有形民俗文化財	昭和初期まで野辺送りに使った輿形の葬送具。	R02
天竜 105	春野町豊岡野尻地区の龕(がん)	有形民俗文化財	昭和初期まで野辺送りに使った輿形の葬送具。	R02
天竜 106	和泉及び鮎釣の神楽	無形民俗文化財	子安神社祭礼、「道中舞(ぬさ舞)」と「ほろ舞」。	R02
天竜 107	明神峽★	名勝	春野町。清流気田川に沿って続く約5kmの溪谷。	R02
天竜 108	堀之内静修のヤマザクラ★	天然記念物	春野町。日露戦争の戦勝記念に植えられた。	R02
天竜 109	意昌庵のヤマザクラ★	天然記念物	春野町。日露戦争の戦勝記念に植樹。樹高11m。	R02
天竜 110	意昌庵のサルスベリ★	天然記念物	春野町。樹齢約100年、樹高約7m。	R02
天竜 111	大時のシダレザクラ★	天然記念物	春野町。昭和20年代に植樹されたもの。	R02
天竜 112	白倉諏訪神社のエドヒガンザクラ★	天然記念物	龍山町。参道脇。樹齢200～300年、幹回り3m。	R02
天竜 113	龍山町平沢のヤマザクラ★	天然記念物	龍山町。樹齢100～150年、幹回り約3m。	R02
天竜 114	浦川小学校のシラカシ★	天然記念物	佐久間町。旧神社境内の木。樹齢推定250年。	R02
天竜 115	旧気田森林鉄道小石間トンネル★	近代化遺産	春野町。昭和8年。森林鉄道廃止後、県道に改修。	R02
天竜 116	只来の集落景観★	文化的景観	小盆地に屋号を持つ屋敷と小字が残っている。	R02



区	名称	種別	説明	年
天竜 117	二俣の小路(しょうな)景観★	文化的景観	街道沿いの街並みに地名とともに路地が残る。	R02
天竜 118	犬居の秋葉山常夜灯群★	有形民俗文化財	小奈良安ほか春野町犬居地区にある5件。	R03
天竜 119	西領家の庚申堂★	有形民俗文化財	春野町。昭和7年建立、青面金剛を安置する。	R03
天竜 120	金蔵坊大日如来堂★	有形民俗文化財	春野町。明治44年に無病息災を祈願して建立した。	R03
天竜 121	平木の常夜灯★	有形民俗文化財	春野町。大正4年御大典記念に平木青年会が建立。	R03
天竜 122	静修の大日山道標	歴史資料	安政2年。小奈良安から大日山への分岐にある。	R03
天竜 123	若身の大日如来像	有形民俗文化財	尾根づたいの秋葉街道で旧茶屋跡付近にある。	R03
天竜 124	犬居の道標群★	歴史資料	学制発布50周年記念の道標ほか3件を一括。	R03
天竜 125	椎ヶ脇神社本殿	建造物	覆屋の中にある。ケヤキ造り漆塗り柿葺き。	R03
天竜 126	椎ヶ脇神社の祭札関係資料	有形民俗文化財	天保6年製作の神輿と寄進者を記した勸進帳。	R03
天竜 127	伊奈忠次判物	古文書	慶長7年、伊奈忠次が椎ヶ脇社に宛てた安堵状。	R03
天竜 128	椎ヶ脇神社の宝篋印塔★	有形民俗文化財	鹿島。「田村將軍碑」と称する石塔2基、室町時代か。	R03
天竜 129	金貸水神社境内★	史跡	鹿島。借用証文に病名を書いて奉納する願掛けあり。	R03
天竜 130	椎ヶ脇神社の神輿渡御	無形民俗文化財	8月上旬、神輿と屋台の行列が町内を巡る。	R03
天竜 131	建部新八郎慕徳碑及び石灯籠★	歴史資料	鹿島。鹿島尋常小学校訓導を門弟たちが偲ぶ石碑。	R03
天竜 132	建部新八郎墓碑★	歴史資料	鹿島。明治維新後に鹿島尋常小学校訓導を務めた。	R03
天竜 133	相川掘割記念碑★	歴史資料	佐久間町。明治初期、洪水対策のため河川改修。	R03
天竜 134	砂川(いさがわ)の秋葉山常夜灯★	有形民俗文化財	春野町。昭和15年。「秋葉山」「東庚申組」の刻銘。	R03
天竜 135	秋葉街道の一杯水碑★	有形民俗文化財	秋葉山から山住山への参道沿いにある遊水地。	R03
天竜 136	若身鷹尾連の屋台 附 天幕	有形民俗文化財	明治24年製作の御所車型屋台。天幕は大正期。	R03
天竜 137	民蔵の墓	有形民俗文化財	伊豆松崎から椎茸栽培を伝えたという民蔵の墓。	R03
天竜 138	犬居の石像水難慰霊地蔵★	歴史資料	春野町。万延元年、気田川渡船の水難者を慰霊。	R04
天竜 139	小胡桃の石像延命地蔵	有形民俗文化財	天野氏と徳川勢との古戦場と伝えられる場所。	R04
天竜 140	野尻薬師堂の石造地蔵★	有形民俗文化財	春野町。田起こしの牛をつないだという重厚な地蔵。	R04
天竜 141	意昌庵の石造地蔵群★	有形民俗文化財	春野町。「左秋葉山道」と刻む。台座には三猿。	R04
天竜 142	意昌庵の青面金剛像★	有形民俗文化財	一面六臂、台座に三猿を刻む。建立年代不明。	R04
天竜 143	瑞雲院の石造地蔵群★	有形民俗文化財	春野町。節山亮儀の発願、河村六郎治が建立。	R04
天竜 144	瑞雲院の石像聖観音★	有形民俗文化財	春野町。舜鳳大幸の発願、大乘妙典經供養塔。	R04
天竜 145	瑞雲院の石像青面金剛像★	有形民俗文化財	春野町。一面六臂三猿。山門と同じ寛延3年の建立。	R04
天竜 146	瑞雲院の宝篋印塔★	建造物	「皇風永扇 国土昇平 五穀豊穰」ほかの刻銘。	R04
天竜 147	瑞雲院の石造不動明王像★	有形民俗文化財	不動明王像とともに夫婦の戒名が刻まれている。	R04
天竜 148	勝坂清水神社の石造薬師如来立像★	有形民俗文化財	春野町。境内に、各種の石仏とともに祀られる。	R04
天竜 149	錦橋(きんばし)★	建造物	佐久間町。大千瀬川に架橋した四ツ門錦(きん)を記念。	R04
天竜 150	椎ヶ脇神社由緒略碑★	歴史資料	昭和15年、皇紀二千六百年記念事業として建立。	R05
天竜 151	椎ヶ脇神社の常夜灯★	有形民俗	文化14年に船越一色村の渡船衆が寄進した。	R05
天竜 152	徳川家朱印状写	歴史資料	椎ヶ脇神社に与えられた徳川家歴代の安堵状写し。	R05
天竜 153	椎ヶ脇神社本殿棟札	歴史資料	堀尾光景が天正19年に本殿を寄進したことを記す。	R05
天竜 154	椎ヶ脇神社境内見取絵図	歴史資料	明治5年作成の絵図、鹿島十分一番所を表記する。	R05
天竜 155	椎ヶ脇神社太刀鬼神丸関係資料	歴史資料	GHQに押収されたままとなっている太刀の写真他。	R05
天竜 156	椎ヶ脇神社御旅所★	史跡	北鹿島村神明社・白山神社跡地、神輿の滞在地。	R05
天竜 157	蛭子(ひるこ)神明神社境内★	史跡	享保8年(1723)西宮宝殿造立の棟札がある。	R05
天竜 158	津島神社天王神社境内★	史跡	明治33年の棟上がある。6月に祇園祭りを開催。	R05
天竜 159	筏戸大上熊野神社境内★	史跡	元文3年(1738)の創建。	R05
天竜 160	植田八幡神社境内★	史跡	寛文13年(1673)以前の成立。	R05
天竜 161	清水神社境内★	史跡	延享2年棟札、千手観音を祀る。勝坂神楽を奉納。	R05
天竜 162	郷島稻荷神社境内★	史跡	明治29年に勧請。境内に寛政6年の夷社がある。	R05
天竜 163	領家六所神社境内★	史跡	承久元年鎮座と伝。文政11年に現在地に移転。	R05
天竜 164	熱田神社境内★	史跡	文禄3年の造立と伝。現社殿は明治41年改築。	R05

区	名称	種別	説明	年
天竜 165	若身八幡神社境内★	史跡	成立年不詳、8月に祭礼を継続。	R05
天竜 166	平尾稲荷神社境内★	史跡	文禄5年に再興と伝。明治7年合祀、同18年再建。	R05
天竜 167	平野(たいらの)八面神社境内★	史跡	慶長6年以前の創建。明治7年合祀、18年再建。	R05
天竜 168	静修六所神社境内★	史跡	成立年不詳、明治7年に合祀、その後再建。	R05
天竜 169	胡桃平神明神社境内★	史跡	寛正6年造立と伝。現社殿は、大正11年の建築。	R05
天竜 170	新宮神社境内★	史跡	養老6年に勧請したと伝う。新宮池で祭礼がある。	R05
天竜 171	砂川(いさがわ)八坂神社境内★	史跡	養老年間の創建と伝。現社殿は、昭和28年の建築。	R05
天竜 172	五和神明神社境内★	史跡	昭和22年に46名が開拓入植、31年に神社創建。	R05
天竜 173	蛭子(ひるこ)神社境内★	史跡	永正の頃勧請と伝。元和元年以降の棟札を残す。	R05
天竜 174	平城(ひらじょう)天王社境内★	史跡	元禄15年以降改修。明治5年合祀、その後再建。	R05
天竜 175	高杉天神神社境内★	史跡	元禄15年以降数度再建。灯籠への献燈を継続。	R05
天竜 176	小国(しょうこく)神社境内★	史跡	『遠江国風土記伝』に、を正国六音大菩薩社と記す。	R05
天竜 177	川上八幡神社境内★	史跡	永徳元年(1384)勧請と伝。社殿は明治12年の改築。	R05
天竜 178	河内(こうち)八王子神社境内★	史跡	勧請年は不詳だが、天和3年造立の棟札が現存。	R05
天竜 179	高瀬熊野神社境内★	史跡	伝万治2年造立。高瀬村・夜川十五七百村の氏神。	R05
天竜 180	久保田諏訪神社境内	史跡	寛文13年以前成立。現在の社殿は明治29年改築。	R05
天竜 181	里原天神神社境内★	史跡	久安元年の勧請と伝。地神社・風神社がある。	R05
天竜 182	平木八幡神社境内★	史跡	宝暦年間に神妻神社から勧請したと伝わる。	R05
天竜 183	南宮神社境内★	史跡	長久元年、高野山南宮より本地聖観音を迎えたと伝。	R05
天竜 184	金川(きんがわ)稲荷神社境内★	史跡	明治13年以降の棟札有。南宮神社御輿の御旅所。	R05
天竜 185	山路(さんろ)熊野神社境内★	史跡	本殿は、明和2年の建造。拝殿は大正2年上棟。	R05
天竜 186	篠原八王子神社境内★	史跡	平木村の枝村から独立。寛永2年に当社を造立。	R05
天竜 187	野尻熊野神社境内★	史跡	慶長2年造立。気田川洪水により明治19年に移転。	R05
天竜 188	勝坂八幡神社境内★	史跡	慶長6年南宮大明神社として造営。勝坂神楽奉納。	R05

★印:外観などが見学可能な文化財。

※表右端「年」欄は認定した年度。

(着色)

表紙(1ページ)に写真を掲載した文化財。

※一覧表には、これまでに認定されたすべての地域遺産を掲載していますが、個人所有物など公開されていないものがありますのでご注意ください。また私有地等への立入りはご遠慮ください。